

三洋貿易株式会社

2012年9月期決算説明資料

2012年12月3日



目次

第一部 会社概要

第二部 2012年9月期連結決算実績

第三部 2013年9月期連結業績予想

第一部 会社概要

特徴・強み

1 バランスの取れた
事業ポートフォリオ

2 特徴的な取扱い製品
・高付加価値

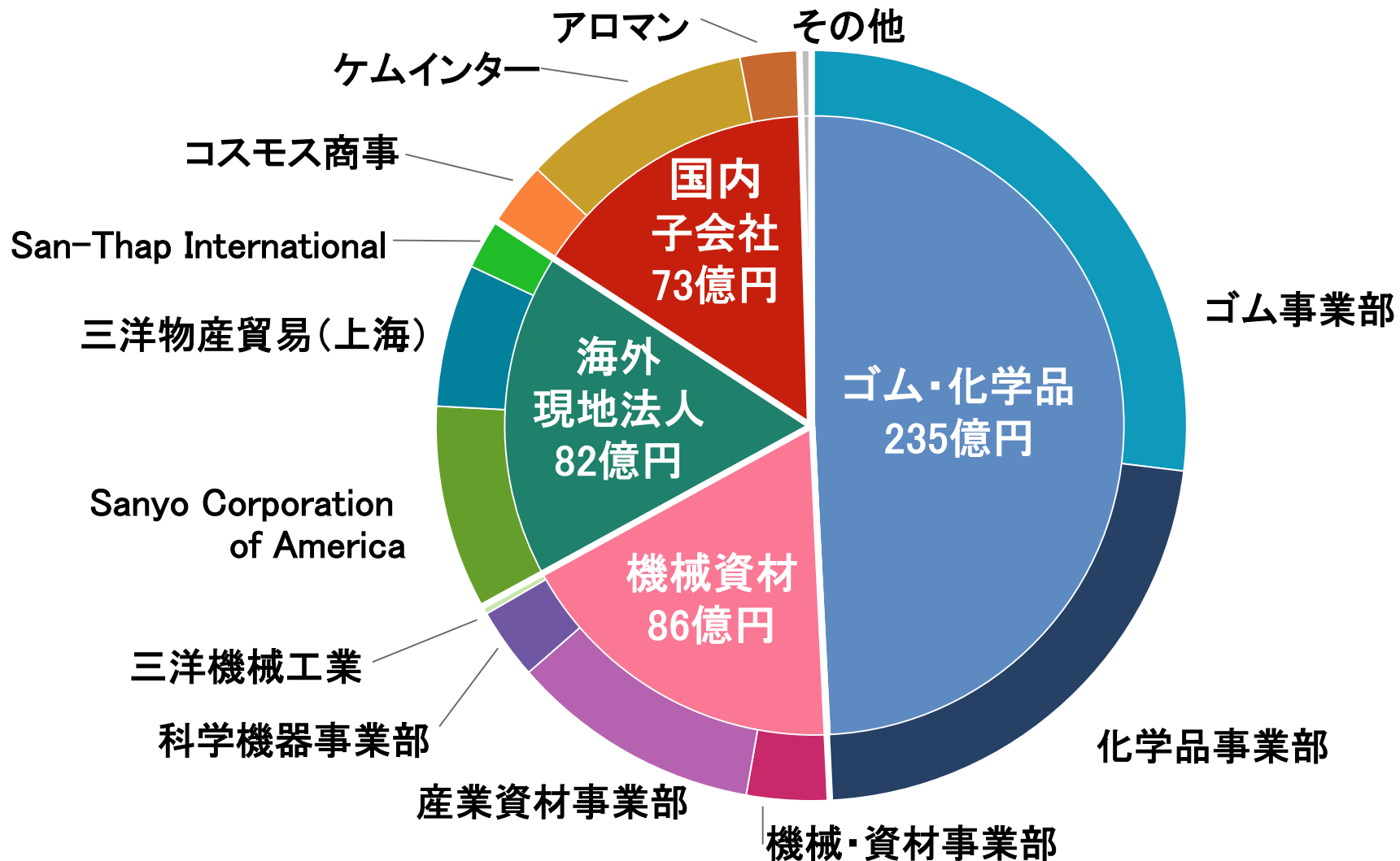
優れたサービス

3

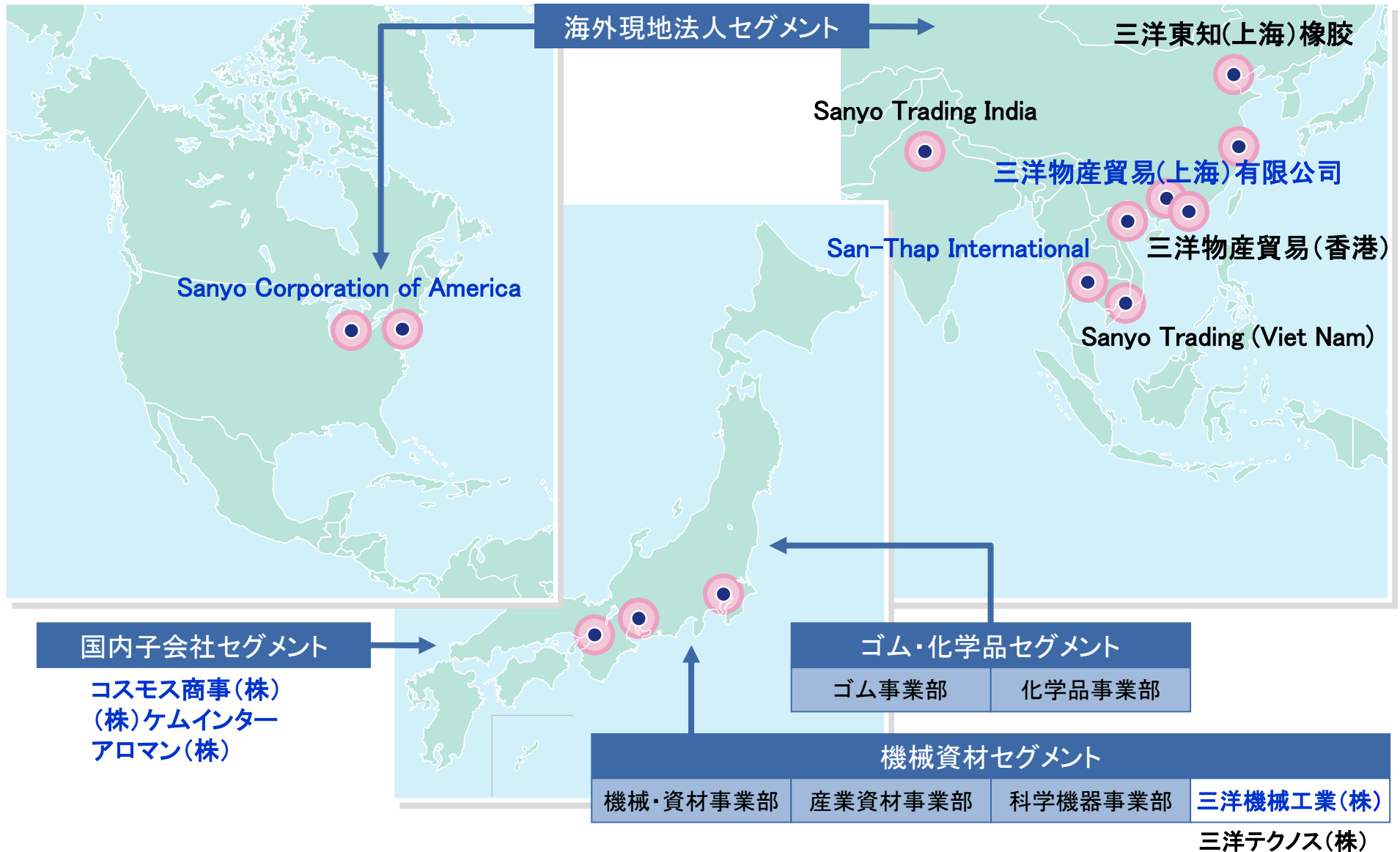
- ・安定供給
- ・開発機能
- ・子会社と技術サポート

1. バランスの取れた事業ポートフォリオ①

セグメント別・事業部別 売上構成比



1. バランスの取れた事業ポートフォリオ②



2. 特徴的な取扱い製品① ゴム・化学品セグメント

ゴム事業部

主要販売先業界:自動車、情報機器 等

| 合成ゴム



| 熱可塑性エラストマー・樹脂



| ゴム補強、充填材



化学品事業部

主要販売先業界:化学、建材、自動車、電子機器 等

| 塗料・インキマーケット



| プラスチックマーケット



| 接着剤マーケット



| 医薬品マーケット



| 洗浄剤マーケット



| 化粧品・潤滑・放熱
マーケット



2. 特徴的な取扱い製品② 機械資材セグメント

機械・資材事業部

主要販売先業界: 飼料、エネルギー、リサイクル 包装 等



産業資材事業部

主要販売先業界: 自動車関連



科学機器事業部

主要販売先業界: 研究所、検査機関、石油化学、半導体 等



2. 特徴的な取扱い製品③ 海外現地法人、国内子会社、その他セグメント

海外現地法人



国内子会社



その他

不動産賃貸業等

2.優れたサービス① 安定供給可能な拠点網



2.優れたサービス② 開発機能の保有

- メーカー並の技術的サポートが可能
- 技術系商社として開発段階から参加
- 営業員の40～45%が技術系

ゴム事業部	<ul style="list-style-type: none">● 技術系営業員による質の高い技術的サポート● 開発商品例<ul style="list-style-type: none">● (超微粒子) ナノレベル架橋粉末ゴム
化学品事業部	<ul style="list-style-type: none">● 海外仕入先にてトレーニングを受けた営業員による付加価値の高い商品のアプリケーション開発、提案ならびにきめ細かい技術サポート
機械・資材事業部	<ul style="list-style-type: none">● ペレットミル自動制御装置のソフト開発およびカスタマイズ化で他社の輸入品との差別化
産業資材事業部	<ul style="list-style-type: none">● 新車の開発段階からデザインの提案や性能開発・改良に参加
科学機器事業部	<ul style="list-style-type: none">● 自社ブランド商品の開発● 輸入機器のカスタマイズ



2.優れたサービス③ 子会社と技術サポート

1973年 三洋機械工業株式会社設立(機械・資材事業部)

- 機械・資材事業部が販売したペレットミルのアフターサービス
- ペレットミル付帯機器の設計・製造、消耗部品の保管基地

一層きめ細かいサービスが可能となり、市場占有率の高い商品に貢献



2004年 三洋東知(上海)橡膠有限公司(ゴム事業部)

- 中国における日系企業向けゴムコンパウンド事業の拠点
- 80%出資ゴムコンパウンドの製造・販売
- 主な用途:自動車、家電、情報機器、建築用ゴム部品

日系進出企業との新規取引、高品質要求先の開拓



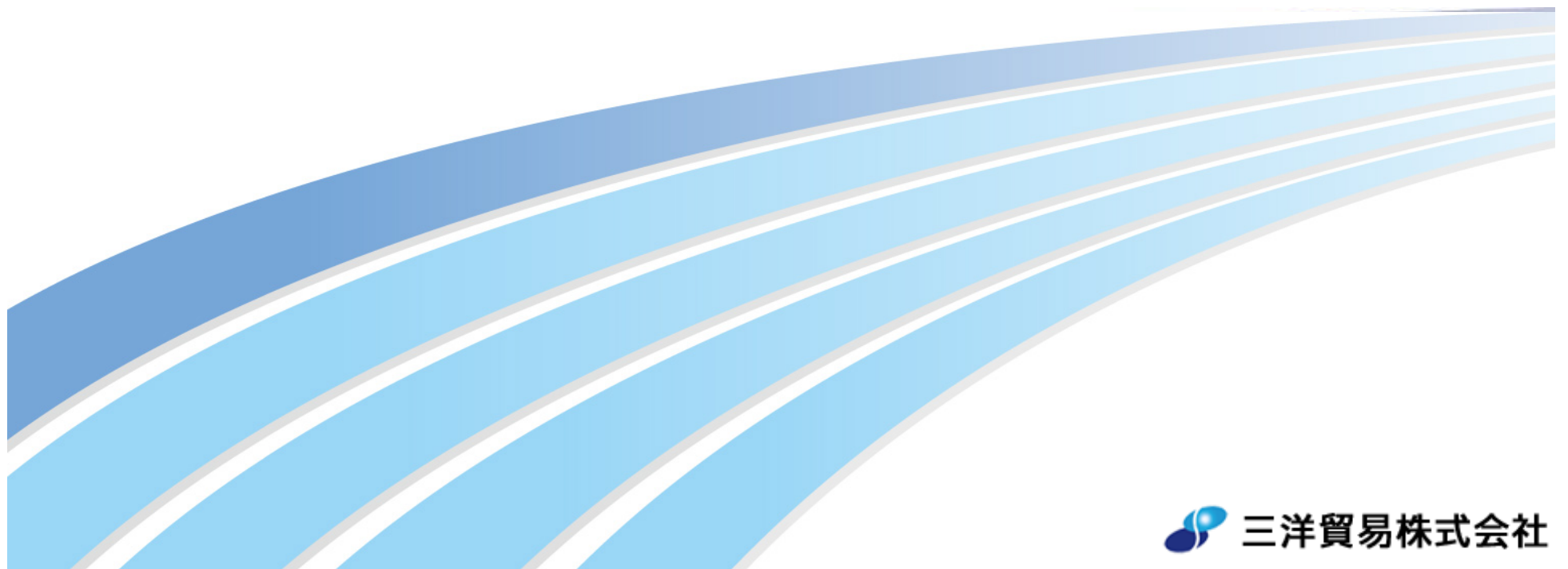
2006年 三洋テクノス株式会社(科学機器事業部)

- 分析・測定・試験機器の改良、設計、アプリ開発、設置据付、試験運転、トレーニング、検収作業、保守など



第二部

2012年9月期連結決算実績



2012年9月期 連結決算実績

- 自動車関連商品が堅調に推移
(部品用特殊合成ゴム、タイヤ用原材料、ランバーサポート、シートヒーターなど)
- グリーンイノベーション、ライフイノベーション関連分野の開発に注力
(環境対応型添加剤、医薬中間体、木質バイオマス製造機械、バイオ関連分析機など)

(単位:百万円)

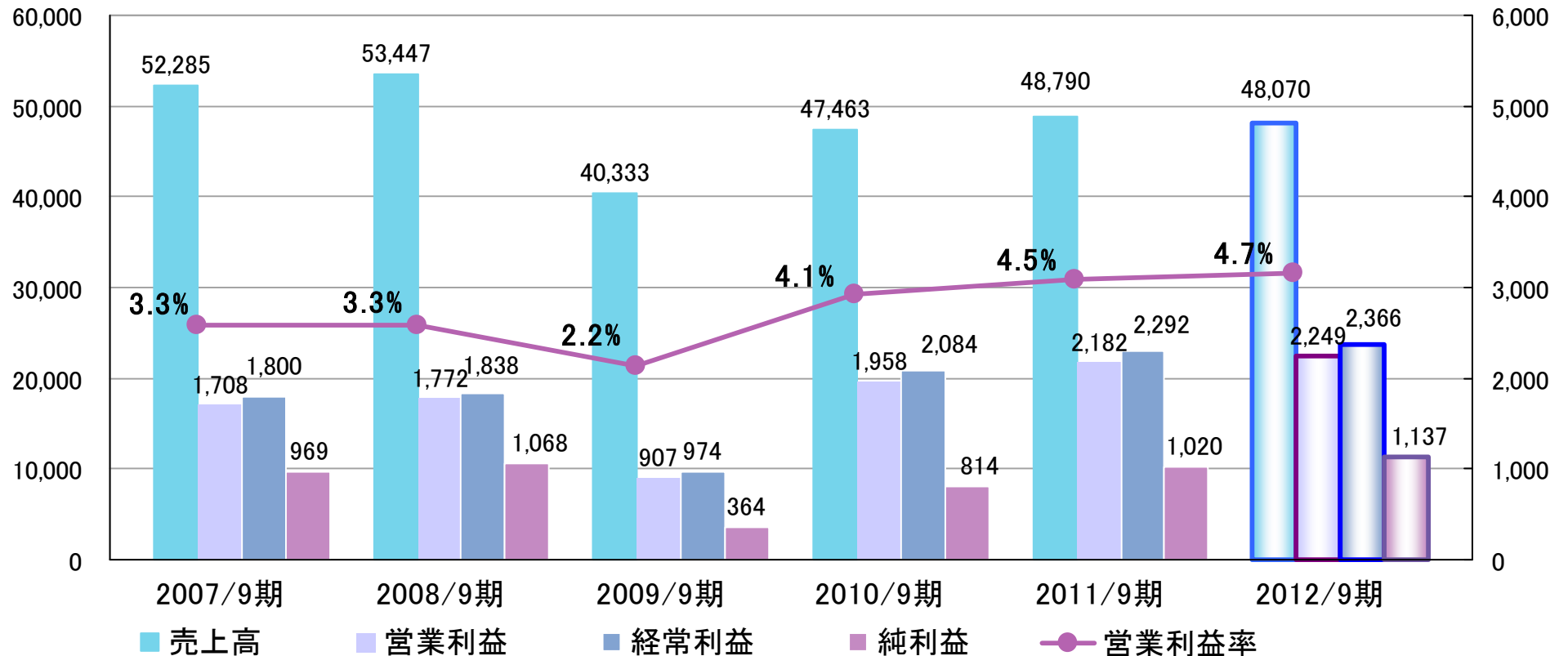
	2011年9月期			2012年9月期		
	金額	構成比(%)	前期比 増減率(%)	金額	構成比(%)	前期比 増減率(%)
売上高	48,790	100.0	2.8	48,070	100.0	△1.5
売上総利益	7,318	15.0	7.1	7,460	15.5	1.9
販売費及び 一般管理費	5,136	10.5	5.4	5,211	10.8	1.5
営業利益	2,182	4.5	11.4	2,249	4.7	3.1
経常利益	2,292	4.7	10.0	2,366	4.9	3.2
純利益	1,020	2.1	25.3	1,137	2.4	11.5

売上・利益推移

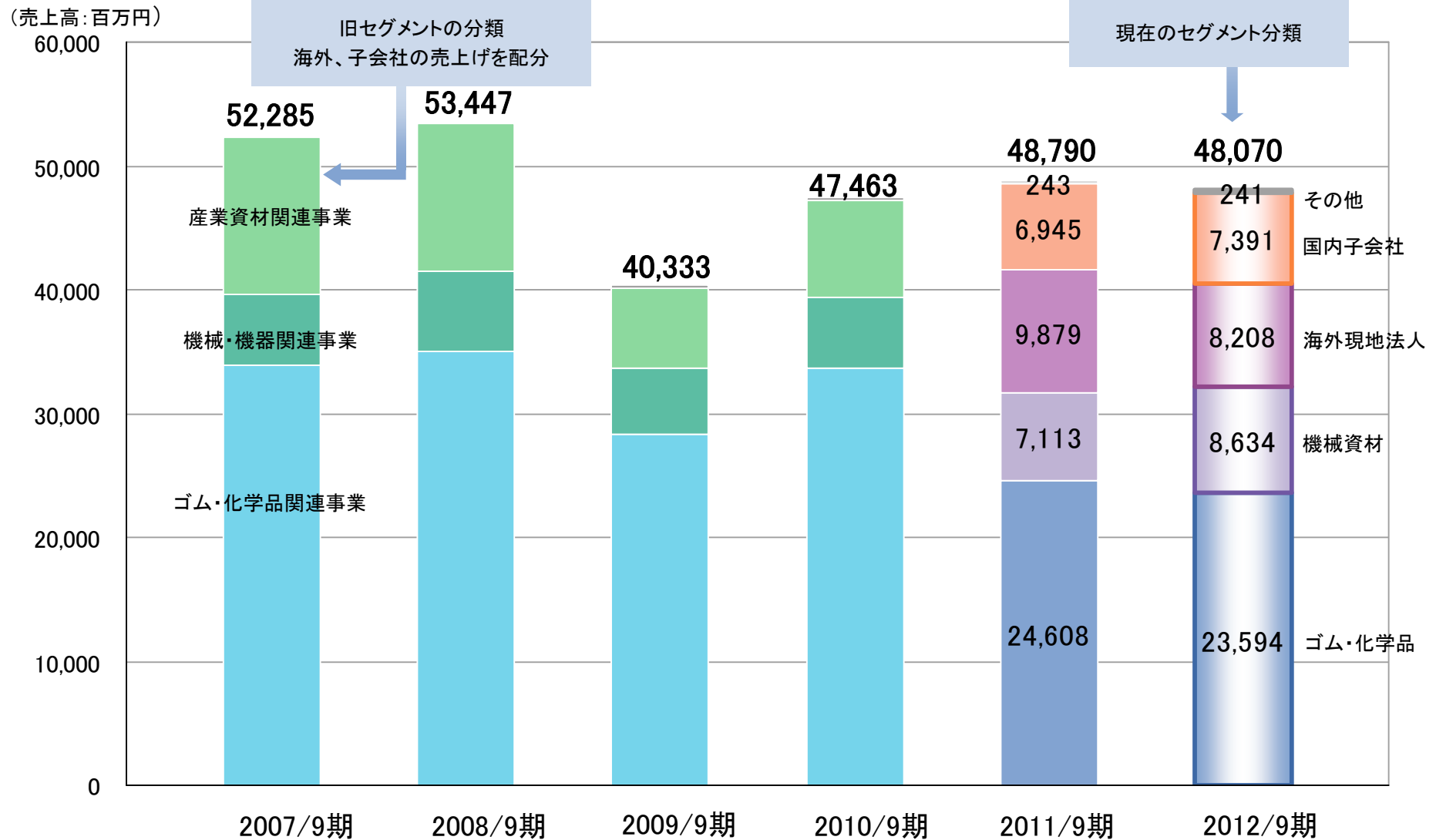
- リーマンショックの影響を受けたものの、2011年9月期はゴム・化学品、2012年9月期は産業資材セグメントが好調で業績は回復

(売上高:百万円)

(利益:百万円)



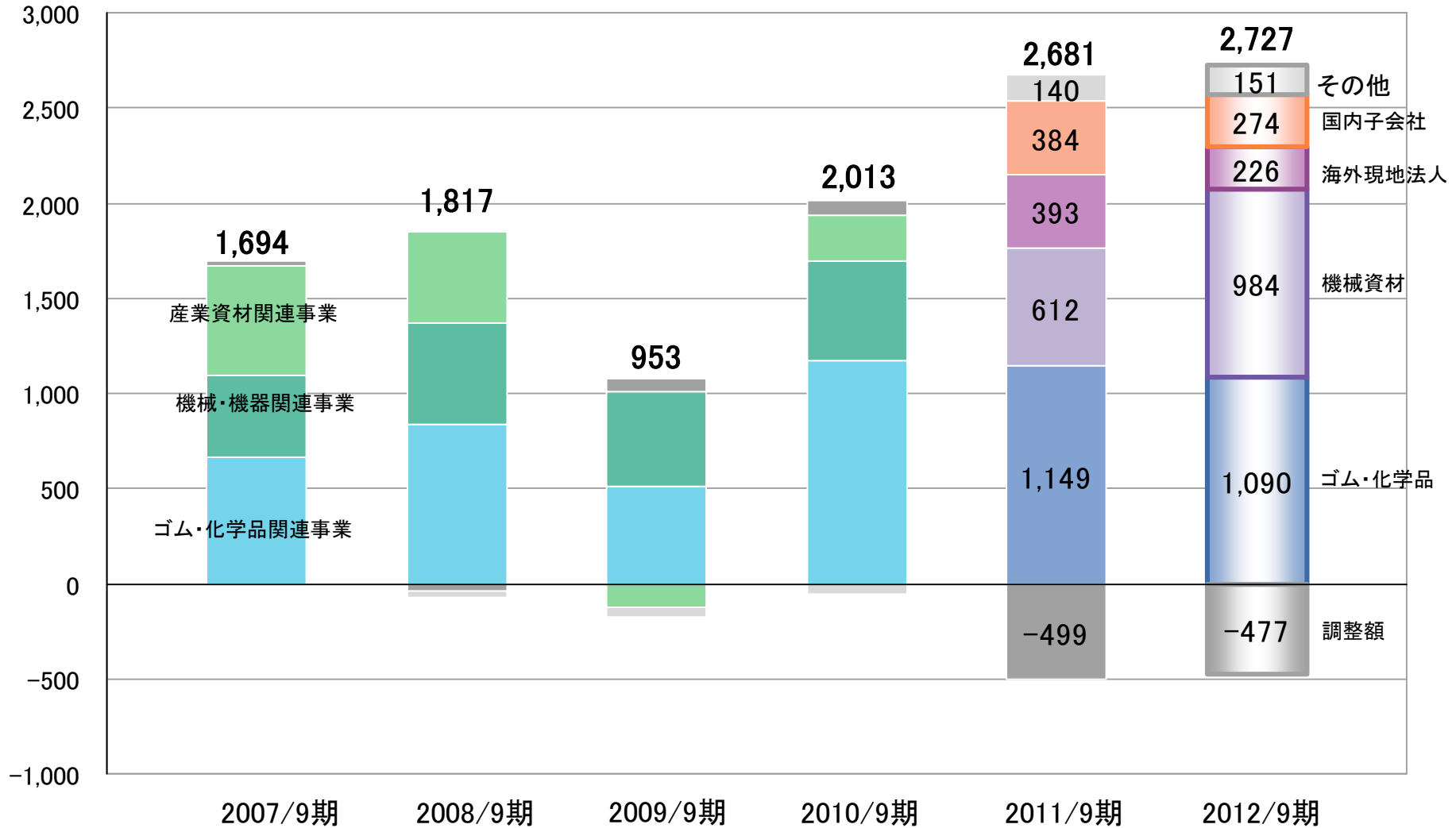
セグメント別売上推移



※2011年9月期よりセグメントを変更

セグメント別利益推移

(営業利益: 百万円)



※2011年9月期よりセグメントを変更、数値は調整前

2012年9月期 セグメント別売上・利益の変動要因

(単位:百万円)

	セグメント別売上実績				
	2011年9月期		2012年9月期		前期比 増減率 (%)
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	
ゴム・化学品	24,608	50.4	23,594	49.1	△4.1
機械資材	7,113	14.6	8,634	18.0	21.4
海外現地法人	9,879	20.2	8,208	17.1	△16.9
国内子会社	6,945	14.2	7,391	15.4	6.4
その他	243	0.5	241	0.5	△0.9
合計	48,790	100.0	48,070	100.0	△1.5

(単位:百万円)

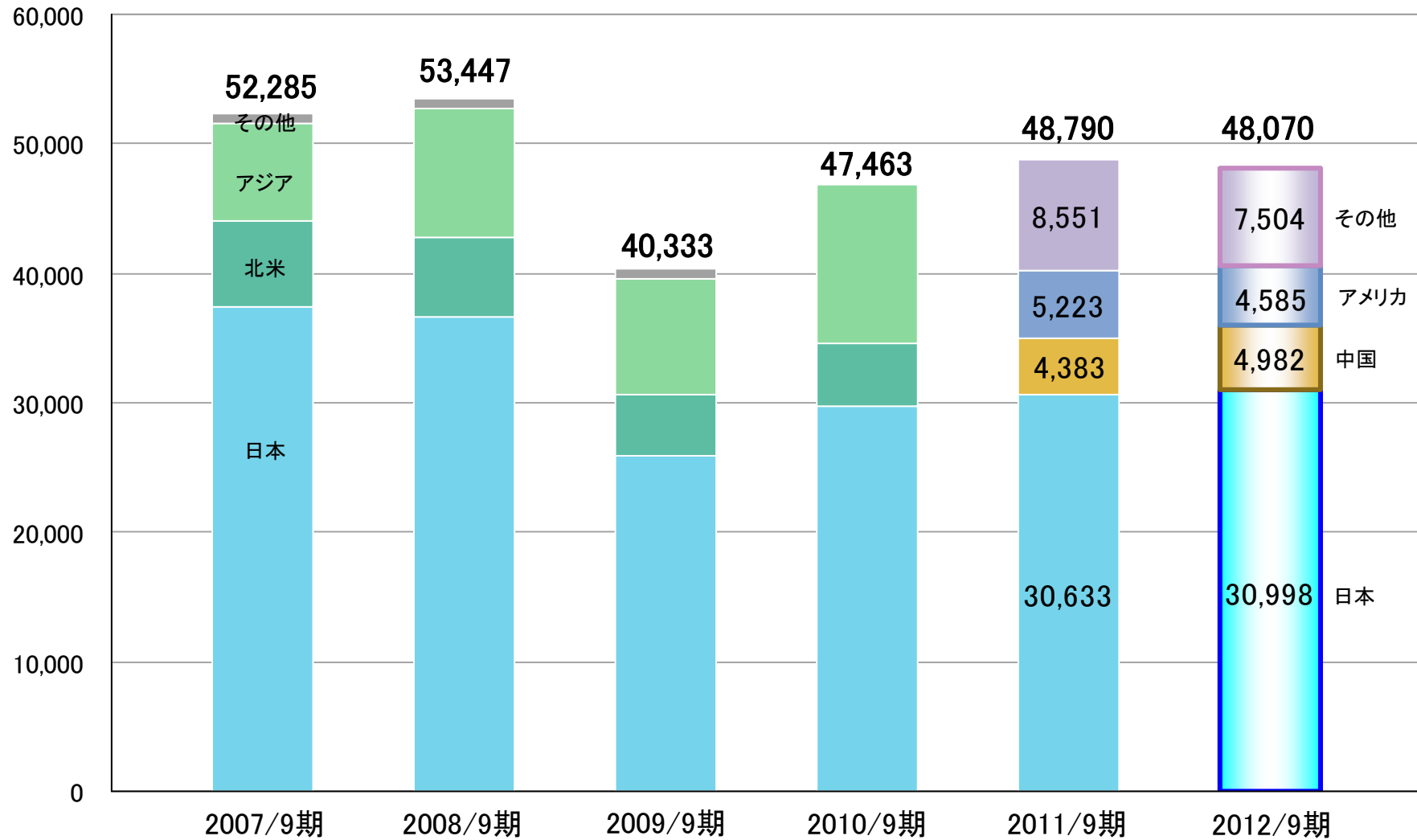
	セグメント別利益実績		
	2011年9月期	2012年9月期	
	金額	金額	前期比 増減率 (%)
ゴム・化学品	1,149	1,090	△5.0
機械資材	612	984	60.6
海外現地法人	393	226	△42.5
国内子会社	384	274	△28.7
その他	140	151	7.8

変動要因

- ゴム・化学品:自動車部品用特殊ゴム、タイヤ用原材料、塗料用添加剤、米国向け高機能フィルムは堅調。家電・情報機器業界向け原材料、インキ用添加剤、皮革用薬品、電材輸出は低迷。新規の環境対応型添加剤や医薬中間体の販売に注力
- 機械資材:飼料加工用機械は震災影響から回復。固形燃料・木質ペレット造粒装置、ランバーサポート、シートヒーター、公的機関向け科学機器関連が好調。半導体関連向けの各種分析機器は不調。新規の着座センサー、モーター等のシート機能部材の拡販に注力
- 海外現地法人:Sanyo Corporation of Americaは高機能フィルムと、北米自動車業界回復の影響でシート機能部材が順調。ゴム関連原材料は低調。三洋物産貿易は工業用接着剤などの新規商材が伸長。San-Thap Internationalは新規商材が立ち上がるものの、タイ洪水被害の影響を長期にわたって受ける
- 国内子会社:コスモス商事は再生エネルギー関連が好調。震災震源域調査・掘削案件を含む海洋・船舶分野も順調。ケムインターは液晶テレビ販売の影響があったが後半は回復。輸出は円高の影響あり。アロマンはタイ洪水影響の受注急増があったが、電子・半導体業界の不振や国内空洞化の影響を受ける

地域別売上構成の推移

(売上高: 百万円)



※2011年9月期より地域区分を変更

2012年9月期 地域別売上の変動要因

(単位:百万円)

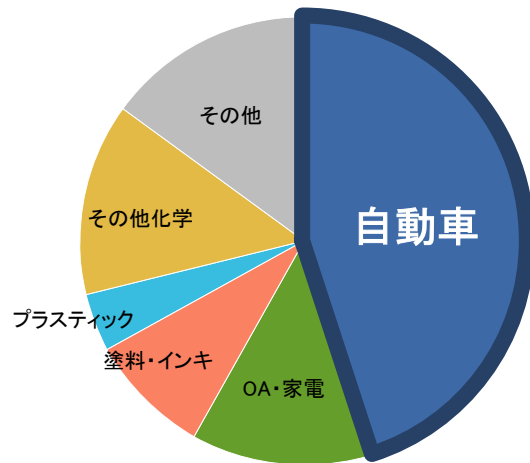
	地域別実績		
	2012年9月期		
	金額	構成比 (%)	前期比 増減率 (%)
日本	30,998	64.5	1.2
中国	4,982	10.4	13.7
アメリカ	4,585	9.5	△12.2
その他	7,504	15.6	△5.6
合計	48,070	100.0	△1.5

変動要因

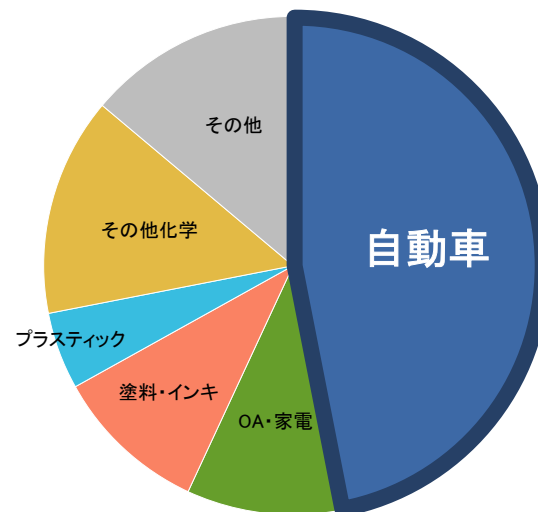
- 日本:自動車関連商品や各種分析機器を始め機械資材セグメントが前期比21%増と好調であったが、家電、情報機器、インキ関連が不調のゴム・化学品セグメントは前期比4%の減少
- 中国:自動車関連商品やゴム関連商品が堅調に推移
- アメリカ:自動車関連商品は堅調に推移したが汎用フィルムやゴム関連資材が低調
- その他:タイは洪水の影響で全般に低調に終わったが、韓国では液晶関連が好調に推移

業界別・販売先別・売上構成比の変化

2011年9月期



2012年9月期



主な販売先(単体ベース)

LIXIL

トヨタ自動車

トヨタ紡織

東海ゴム工業

WET Automotive Systems

KYB

横浜ゴム

藤倉ゴム工業

日本発条

ポリプラスチック

2012年9月期 連結貸借対照表①

(単位:百万円)

	2011年9月期	2012年9月期	増減額	増減要因
流動資産	17,614	18,740	1,125	
現金及び預金	2,314	1,739	△575	
受取手形及び売掛金	10,776	11,674	897	期末日休日による増加
たな卸資産	4,072	4,675	603	機械資材セグメントを中心に増加
その他流動資産	450	651	200	
固定資産	4,656	4,464	△191	
有形固定資産	2,001	2,065	64	
無形固定資産	317	231	△86	
投資その他の資産	2,337	2,167	△169	
投資有価証券	1,470	1,423	△47	
資産合計	22,270	23,204	933	

2012年9月期 連結貸借対照表②

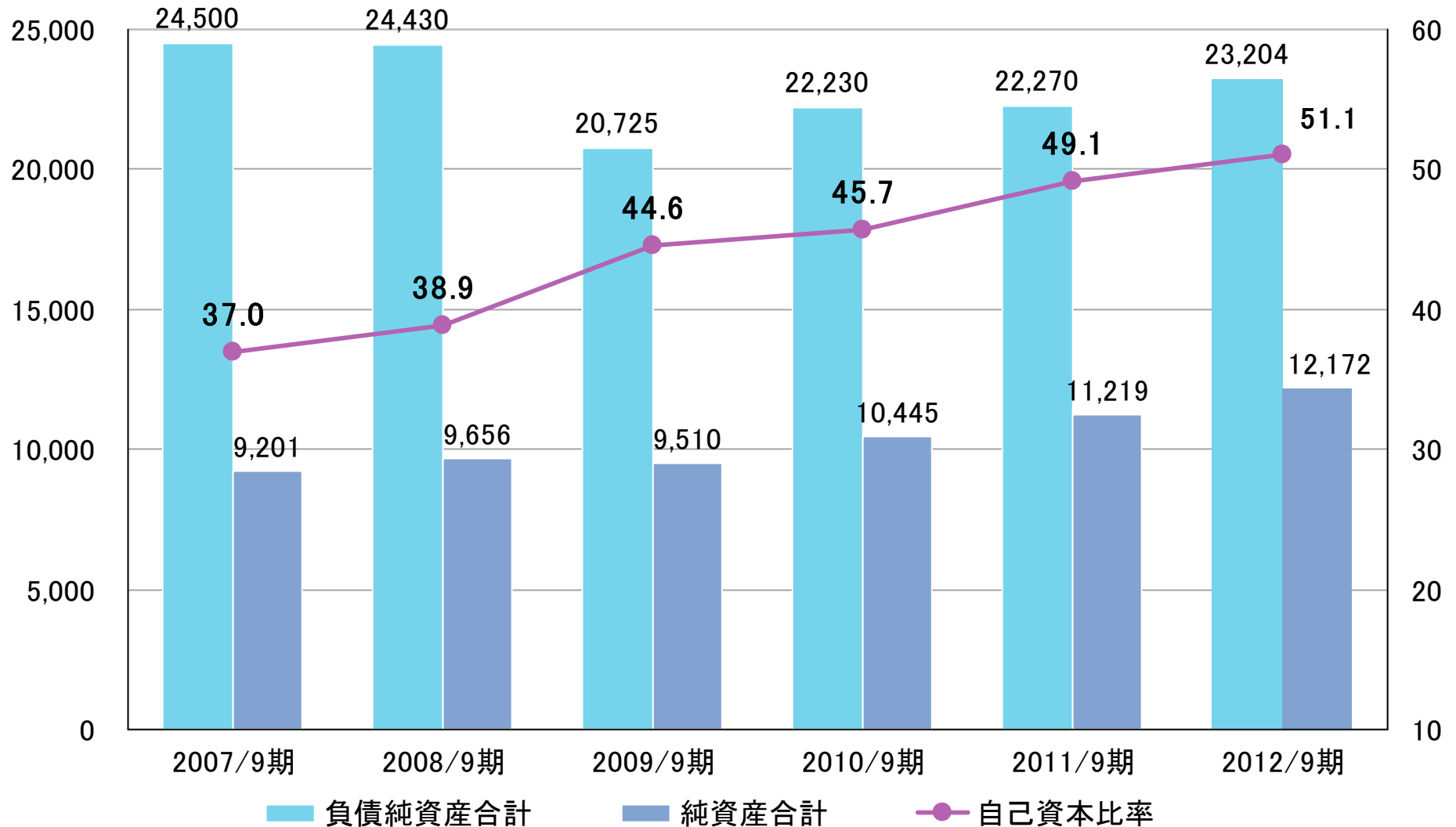
(単位:百万円)

	2011年9月期	2012年9月期	増減額	増減要因
流動負債	9,306	10,014	707	
支払手形及び買掛金	6,073	6,181	107	
借入金	1,841	2,467	625	長期借入金よりシフト
その他流動負債	1,391	1,366	△25	
固定負債	1,744	1,017	△727	
長期借入金	710	50	△660	短期借入金へシフト
その他固定負債	1,034	967	△67	
負債合計	11,051	11,032	△19	
株主資本	11,153	12,084	931	当期利益+1,137、配当△206
その他の包括利益累計額	△216	△221	△5	
少数株主持分	282	310	27	
純資産合計	11,219	12,172	953	
負債純資産合計	22,270	23,204	933	

自己資本比率の推移

(負債純資産合計・純資産合計:百万円)

(自己資本比率:%)

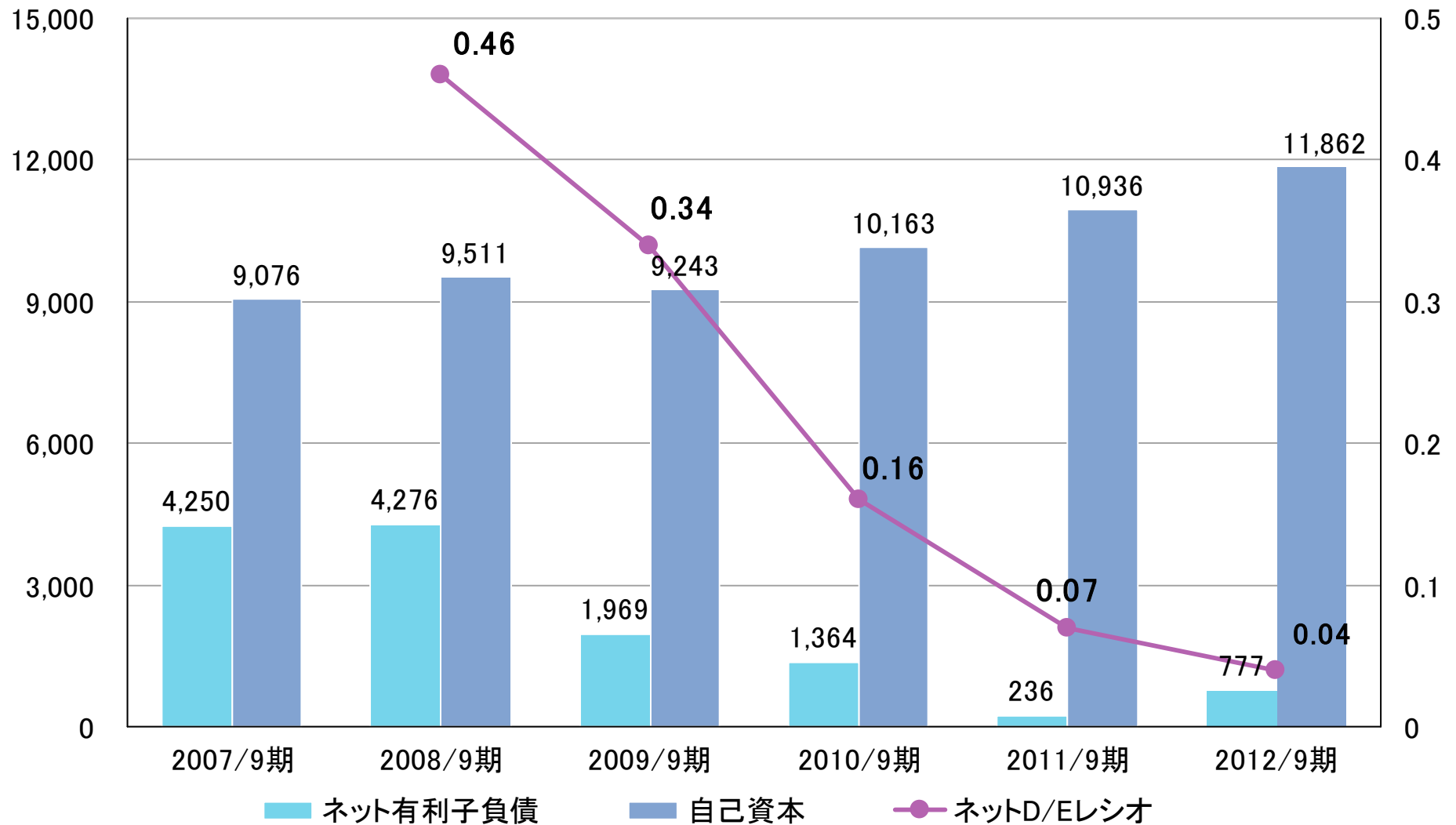


注: 自己資本比率 = (純資産合計 - 新株予約権 - 少数株主持分) / 負債純資産合計

ネットD/Eレシオの推移

(純有利子負債・自己資本:百万円)

(ネットD/Eレシオ:%)



注: ネットD/Eレシオ=(有利子負債-現預金)/(純資産合計-新株予約権-少数株主持分)、期首期末平均

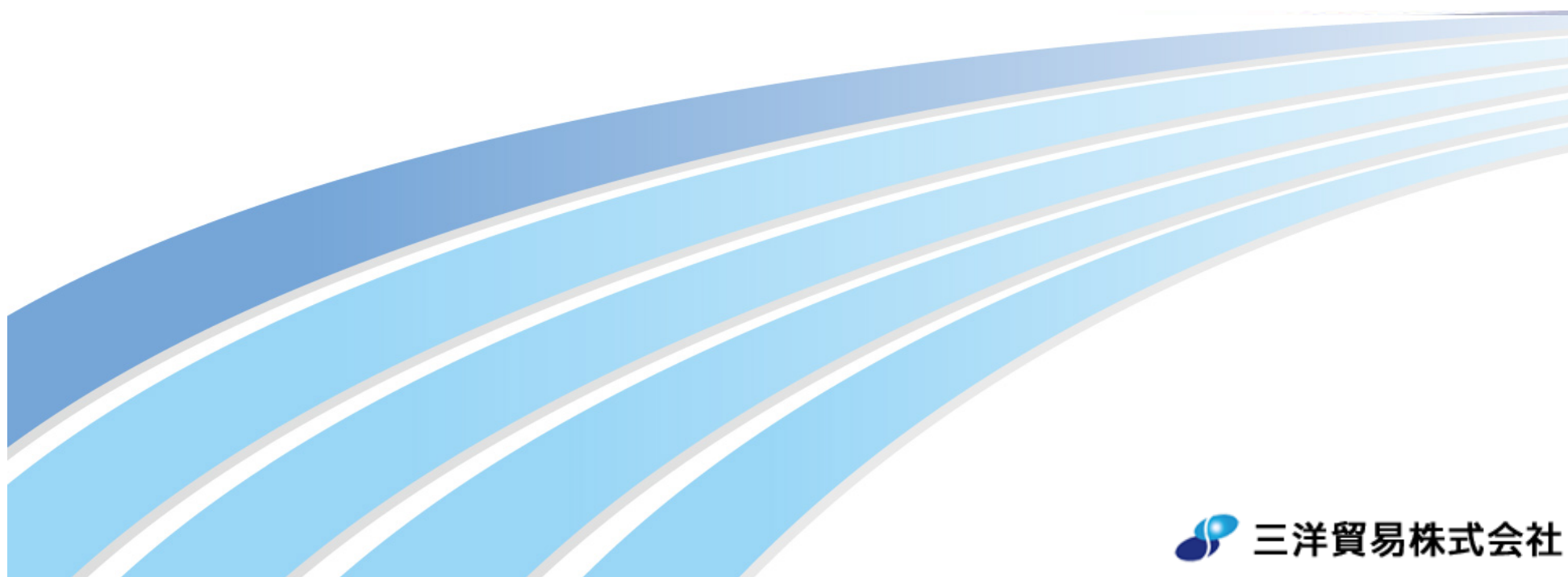
2012年9月期 キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2011年9月期	2012年9月期	増減額	増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,444	60	△1,383	税金等調整前当期純利益 +166 売上債権 △439、たな卸資産 △519 前受金 △134、法人税等の支払い △65
投資活動によるキャッシュ・フロー	△79	△348	△269	有形固定資産取得△200(工場用地取得△185) ソフトウェア取得 △57
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,095	△290	805	借入増 +850 配当金の支払い △45
現金および現金同等物の増減額	218	△575	△794	
現金および現金同等物の期首残高	2,079	2,297	218	
現金および現金同等物の期末残高	2,297	1,721	△575	

第三部

2013年9月期業績予想



2013年9月期 業界環境と具体的施策

- 自動車業界
中国市場の動向が懸念されるが、グローバルで見れば当面堅調な推移を予想。国内空洞化・生産の海外移転に対しグローバルに迅速に対応
- ゴム関連業界
家電・情報機器業界の急回復は見込めず、堅調な自動車部品・タイヤ関連向け原材料や、環境対応型添加剤などの新期商材に注力
- 化学品関連業界
塗料・インキ業界は現状レベルで推移するものと予想。医薬中間体や高機能フィルムなどに注力
- 新規商材
 - ① グリーンイノベーション：太陽光発電関連資材、木質バイオマス関連機械、地熱・海底資源関連機材、環境対応型ケミカルなど
 - ② ライフイノベーション：医薬中間体、医療関連材料、高吸水性樹脂、バイオ・食品検査装置など

2013年9月期 連結業績予想

- 自動車関連業界の伸長と、医療関連商材や環境関連商材など新分野での売上高拡大を見込む
- 業容拡大に向けた人件費や運送料・保管料の増加を見込む

(単位:百万円)

	実績			予想					
	2012年9月期			2013年9月期 2Q			2013年9月期		
	金額	構成比 (%)	前期比増減率 (%)	金額	構成比 (%)	前期比増減率 (%)	金額	構成比 (%)	前期比増減率 (%)
売上高	48,070	100.0	△1.5	26,280	100.0	7.0	53,562	100.0	11.4
売上総利益	7,460	15.5	1.9	3,935	15.0	△1.9	7,833	14.6	5.0
販売費及び一般管理費	5,211	10.8	1.5	2,780	10.6	11.1	5,540	10.3	6.3
営業利益	2,249	4.7	3.1	1,165	4.4	△22.8	2,293	4.3	2.0
経常利益	2,366	4.9	3.2	1,215	4.6	△23.5	2,399	4.5	1.4
純利益	1,137	2.4	11.5	665	2.5	△10.8	1,299	2.4	14.3

2013年9月期 セグメント別売上予想

- 自動車関連資材など機械資材セグメントで大幅な売上増加を見込む

(単位:百万円)

	実績			予想					
	2012年9月期			2013年9月期 2Q			2013年9月期		
	金額	構成比 (%)	前期比 増減率 (%)	金額	構成比 (%)	前期比 増減率 (%)	金額	構成比 (%)	前期比 増減率 (%)
ゴム・化学品	23,594	49.1	△4.1	11,883	45.2	0.3	24,923	46.5	5.6
機械資材	8,634	18.0	21.4	5,922	22.5	24.5	11,180	20.9	29.5
海外現地法人	8,208	17.1	△16.9	4,882	18.6	9.5	10,079	18.8	22.8
国内子会社	7,391	15.4	6.4	3,484	13.3	3.1	7,146	13.3	△3.3
その他	241	0.5	△0.9	109	0.4	△3.5	233	0.5	△3.3
合計	48,070	100.0	△1.5	26,280	100.0	7.0	53,562	100.0	11.4

2013年9月期 地域別売上予想

- 自動車関連資材やゴム・化学品関連資材を中心に、アジア・米国など海外での売上増加を見込む

(単位:百万円)

	実績			予想					
	2012年9月期			2013年9月期 2Q			2013年9月期		
	金額	構成比 (%)	前期比増減率 (%)	金額	構成比 (%)	前期比増減率 (%)	金額	構成比 (%)	前期比増減率 (%)
日本	30,998	64.5	1.2	16,735	63.7	3.2	33,881	63.3	9.3
中国	4,982	10.4	13.7	3,115	11.9	23.4	6,272	11.7	25.9
アメリカ	4,585	9.5	△12.2	2,449	9.3	4.3	5,131	9.6	11.9
その他	7,504	15.6	△5.6	3,981	15.1	5.6	8,278	15.4	10.3
合計	48,070	100.0	△1.5	26,280	100.0	7.0	53,562	100.0	11.4

2013年9月期 設備投資・減価償却

子会社である三洋機械工業の建物建設費用

- 土地面積 701坪
- 建築面積 1,396㎡
- 建築費用 292百万円、その他の付帯費用15百万円 計307百万円(消費税抜き)

基幹システムのリプレース費用

- 販売・購買システムに係るライセンス及び開発費用
- 債権・債務システムに係るライセンス及び開発費用
- 会計システムに係るライセンス及び開発費用
- システム関連費用 計201百万円(消費税抜き)

(単位:百万円)

	実績		予想	
	2012年9月期		2013年9月期	
	金額	金額	金額	金額
設備投資額	293		518	
減価償却費	220		217	

今後の中長期的事業戦略① 取扱い製品ポートフォリオの強化

5事業部体制強化のため製品ポートフォリオを強化

既存事業

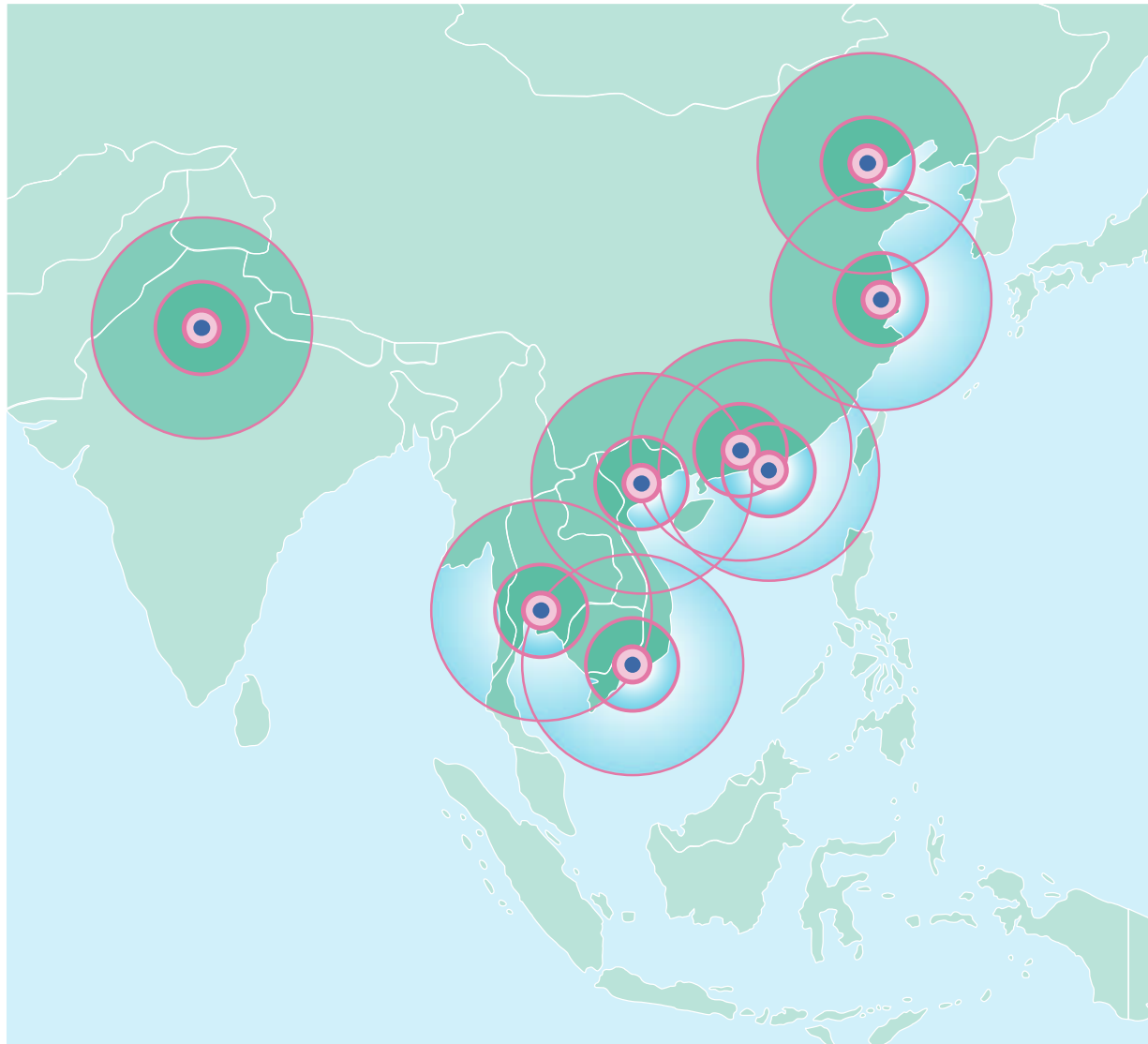
- 得意分野での高付加価値商品への特化を一層進める
- 取扱い製品群を広げ収益基盤を強化と安定化を図る
- 新興国を中心としたグローバル展開の加速と拡大

新規事業

- 環境関連や生活関連に積極的な投資
- M&A(不得意分野の強化、時間の短縮、人材の確保)

ポートフォリオの組換えと強化で、
長期にわたる高収益基盤の構築を目指す

今後の中長期的事業戦略② 海外展開



海外展開の目的

- 成長市場に照準
- 商品の供給体制の強化
- 仕入先、販売先の開拓
- 新規商材の開拓

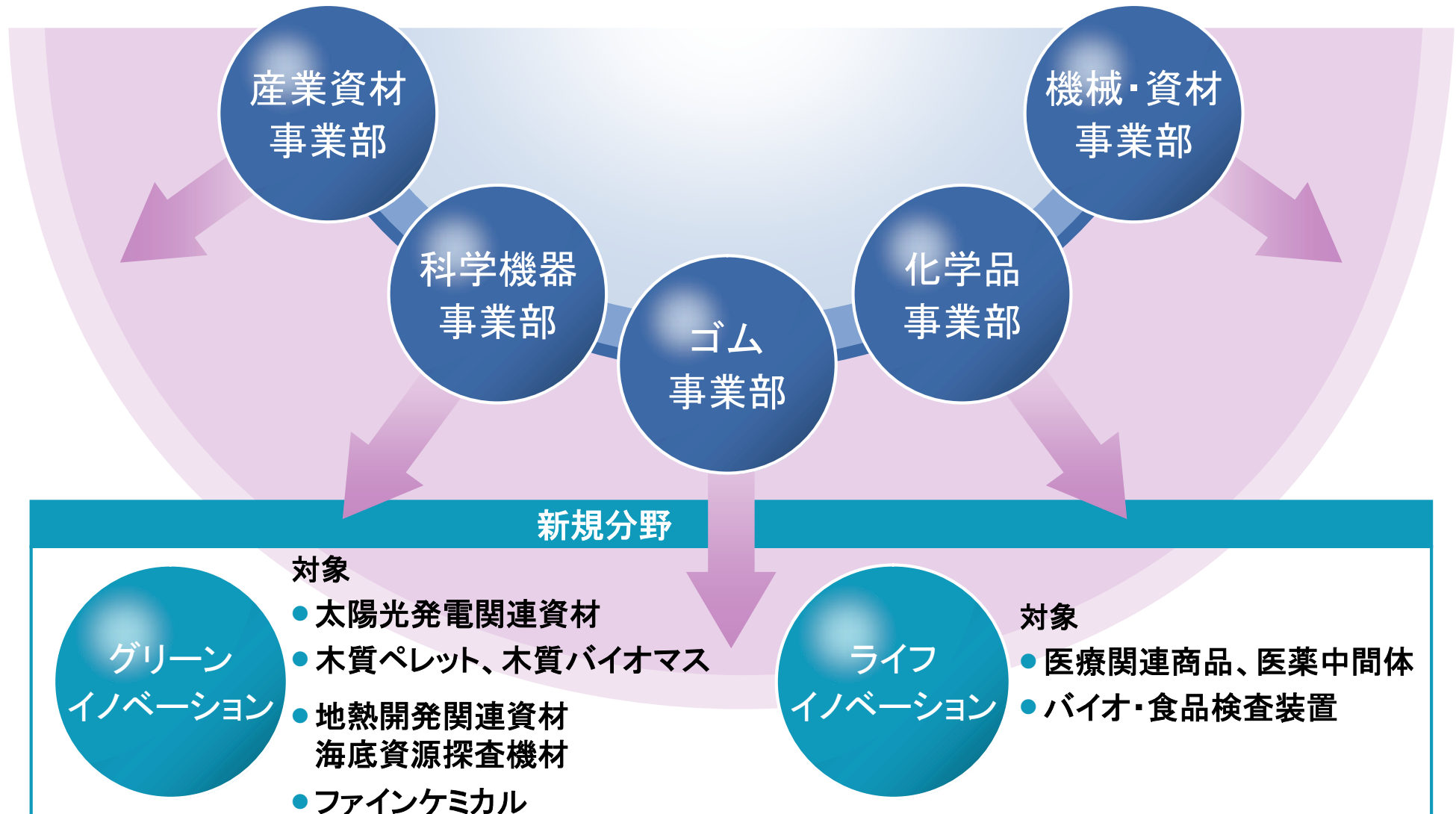
ゴム・化学品セグメント、関連会社

- コンパウンド事業の拡大
- ゴム補強剤、充填材、クレー
- 医薬中間体、農薬
- 顔料、電子材料、フィルム
- 樹脂、エマルジョン

機械・資材セグメント

- 自動車用内装材
- 印刷機材
- 試験機器

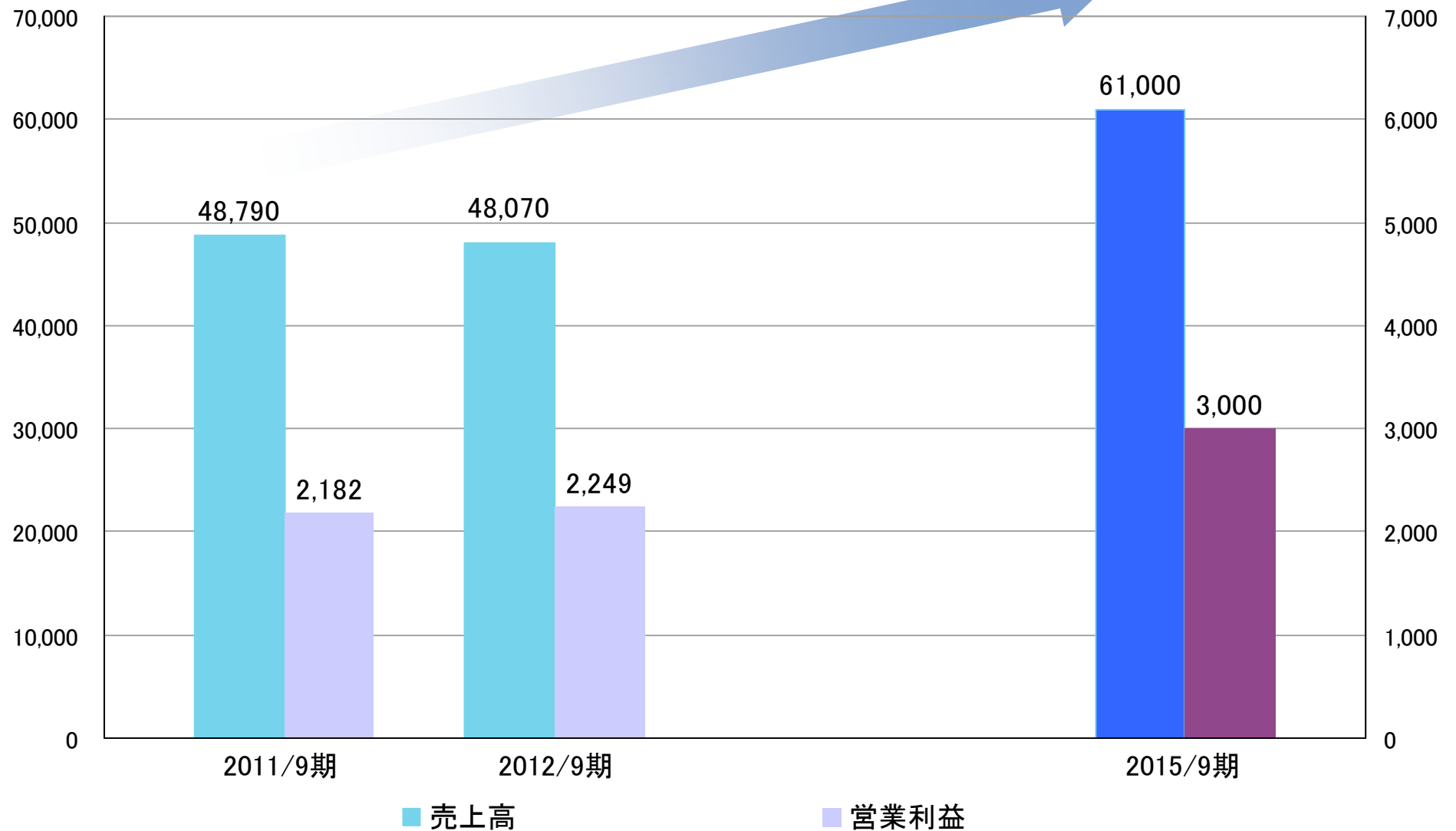
今後の中長期的事業戦略③ M&Aの推進



中期経営計画

(売上高: 百万円)

(営業利益: 百万円)



株主還元

配当方針

- 連結配当性向25%を下限の目処
- 中間配当制度を導入

1株あたり配当金予想

	1株あたり配当金予想			
	2Q末	4Q末	合計	連結配当性向
2013年9月期	15円 (内、5円は 上場記念配当)	15円	30円	32.1%

ご清聴ありがとうございます

IRに関するお問い合わせ先

三洋貿易株式会社 経営企画室 室長 白井浩

電話:03-3518-1101 e-mail:ir@sanyo-trading.co.jp

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。